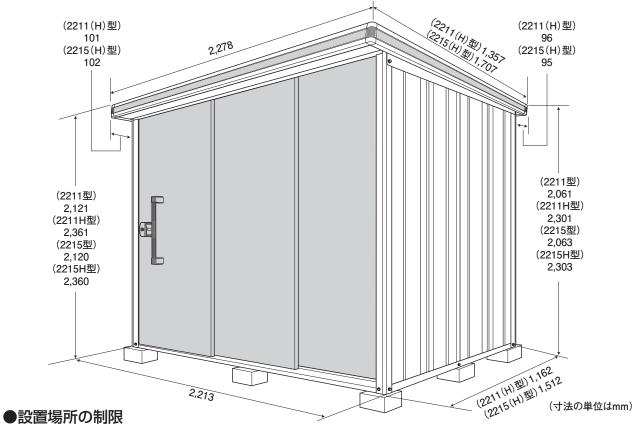
# 

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「2215」の組立手順を基本に説明しています。



●建物の屋上には設置しないでください。

- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち·風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

#### ●組立施工の際には

#### 

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。 ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●下枠左右梱包

#### ●梱包組み合わせ表

機種		2211 型	2215型	2211H 型	2215H 型
部品		LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142
	上枠前後(一般·積雪共用型)	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205
枠	上枠前後(豪雪型)	LM5-0209	LM5-0209	LM5-0209	LM5-0209
	下枠前後	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255
	上枠左右	LM5-0302	LM5-0303	LM5-0302	LM5-0303
	下枠左右	LM5-0352	LM5-0353	LM5-0352	LM5-0353
柱		LM5-0411	LM5-0411	LM5-0412	LM5-0412
BE	柱	LM5-1467	LM5-1468	LM5-1471	LM5-1472
鼻	隠し	LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105
	一般型	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531
	積雪型	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531
	豪雪型	LO5-3531	LO5-3531	LO5-3531	LO5-3531
床		LM5-0708	LM5-0715	LM5-0708	LM5-0715
屋根		LM5-0913	LM5-0924	LM5-0913	LM5-0924
壁		LM5-1001	LM5-1003	LM5-1011	LM5-1013
		LM5-1004	LM5-1004 LM5-1004 LM5-1014		LM5-1014
		LM5-1022	_	LM5-1032	_
袖壁		LM5-1055	LM5-1055	LM5-1065	LM5-1065
扉		LM5-1705	LM5-1705	LM5-1715	LM5-1715
棚板		LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
	一般型	17	16	17	16
合計	積雪型	17	16	17	16
	高重刑	17	16	17	16

2211(H) LM 5-0913

LM 5-1467

### ●梱包内容表

LM5-0142 2211(H)·2215(H) LM5-0352

	)·2215(H)	LM 5-0352	2211(H)	LM 5-0913	2211(H)	LM 5-1467	2211
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2	ELD 下枠側 A1.5(左)	1	ELD 屋根(70)A1.5	3	ELD 間柱前 L	1
ボルト (スプリングワッシャー付) M 6×1	5 (1)	ELD 下枠側 A1.5(右)	1			ELD 間柱後 L	2
ELD 柱補強金具(AS)	1			LM 5-0924	2215(H)	ELD 間柱側中 1.5L	2
ELD 下レールキャップ	1	LM 5-0353	2215(H)	ELD 屋根(70)A2.0	3		
Τ型レンチ	1	ELD 下枠側 A2.0 (左)	1			LM 5-1468	2215
ELD アンカープレート(L)	4	ELD 下枠側 A2.0(右)	1	●壁		ELD 間柱前 L	1
ELD 屋根隙間隠し A	2			LM 5-1001	2211	ELD 間柱後 L	2
ELD 屋根隙間隠し B	1	●柱		部材名	数量	ELD 間柱側中 2.0L	2
EL 鍵孔フサギ	1		11 · 2215	ELD 壁パネル L-A	1		
ボルトM6×15(白)	153 (5)	部材名	数量			LM 5-1471	2211H
組立説明書	1	ELD 柱前 AS- 右 L	1	LM 5-1003	2215	ELD 間柱前 H	1
取扱説明書	1	ELD 柱前 AS- 左 L	1	ELD 壁パネル L-A	3	ELD 間柱後 H	2
保証書5年	1	ELD 柱後 L	2			ELD 間柱側中 1.5H	2
	)内は予備	ELD 戸当り (M) L	1		211 · 2215		
●上枠前後				ELD 壁パネル L-A	4	LM 5-1472	2215H
	)·2215(H)		H · 2215H			ELD 間柱前 H	1
部材名	数量	ELD 柱前 AS- 右 H	1	LM 5-1022	2211	ELD 間柱後 H	2
ELD 上枠前 AS-A3.0	1	ELD 柱前 AS- 左 H	1	ELD 壁パネル L-F	2	ELD 間柱側中 2.0H	2
ELD 上枠後 A3.0	1	ELD 柱後 H	2				
		ELD 戸当り (M) H	1	LM 5-1011	2211H	●扉	
LM5-0209 2211 (H)				ELD 壁パネル H-A	1		11 · 2215
ELD 上枠前 AS-A3.0	1	●補強				部材名	数量
ELD 上枠後 A3.0	1		)·2215(H)	LM 5-1013	2215H	ELD 扉前 L-A	1
ELD 上枠補強 AS-A3.0	1	部材名	数量	ELD 壁パネル H-A	3	ELD 扉後 L-A	1
		ELD もや A-A3.0 DLN	1			ELD 扉支持材 AS-A	1
●下枠前後梱包		ELD 床補強 A3.0	1		H · 2215H	ポルト M6 × 15 (白)	3
	)·2215(H)			ELD 壁パネル H-A	4	ELD 取手	1
部材名	数量	LM 5-3531 2211 (H				ELD 連動車	1
ELD 下枠前 AS-A3.0	1	ELD もや C-A3.0S DLS	1	LM 5-1032	2211H	ELD 戸車上昇防止プレート AS	3
ELD 下枠後 A3.0	1	ELD 床補強 A3.0	1	ELD 壁パネル H-F	2		
ELD 床押え A3.0	2					LM 5-1715 2211H	I · 2215H
		LO5-3531 2211 (H)		●袖壁		ELD 扉前 H-A	1
●上枠左右		LOD もや D-A3.0U	1		211 · 2215	ELD 扉後 H-A	1
LM 5-0302	2211(H)	LOD もや E-A3.0UW DLU		部材名	数量	ELD 扉支持材 AS-A	1
部材名	数量	ELD 床補強 A3.0	1	ELD 袖壁 L-A	1	ボルト M6 × 15 (白)	3
ELD 上枠左 A1.5	1					ELD 取手	1
ELD 上枠右 A1.5	1	●床			H · 2215H	ELD 連動車	1
		LM 5-0708	2211(H)	ELD 袖壁 H-A	1	ELD 戸車上昇防止プレート AS	3
LM 5-0303	2215(H)	部材名	数量				
ELD 上枠左 A2.0	1	ELD 床板 A1.5	6	●鼻隠し		●棚板	
ELD 上枠右 A2.0	1	LAA E OD4E	0045(11)	LM 5-1105 2211(H	)·2215(H)	LM 5-1903 2211 (H)	·2215 (H)

D 鼻隠し後 A3.0

#### ○部材名称にはA1.5、A2.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。 |ELC 棚受 N 左 ○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。 鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

## ●施工にあたって

1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。

2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に 従って組立てしてください。

3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

#### ※安全のため必ず手袋を着用してください。

4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

#### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

・コンクリートブロック 9ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)

・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。 

#### ●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

#### ●使用ビス一覧



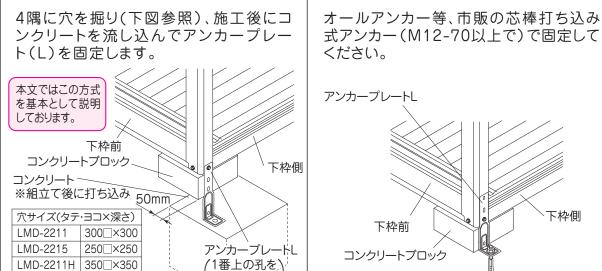
#### ●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図 のような方法があります。強風による転 倒防止のため、必ず行ってください。

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカ - 注意 ーセット」が別途必要です。アンカープレート(L) を使って内アンカーの工事はしないでください。

#### 《土の上に設置する場合》

## 《コンクリート床の上に設置する場合》



▲注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

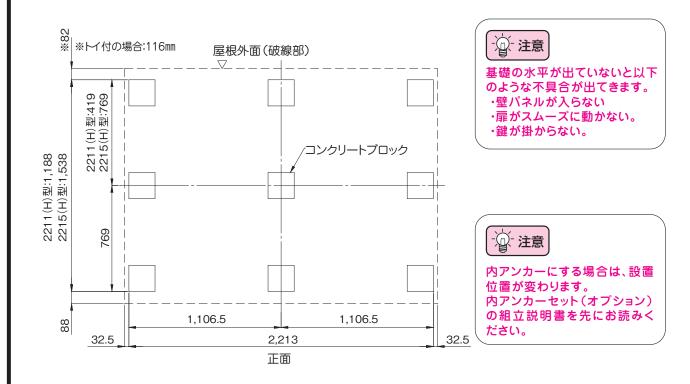
、使用します 丿

## 1基礎施工

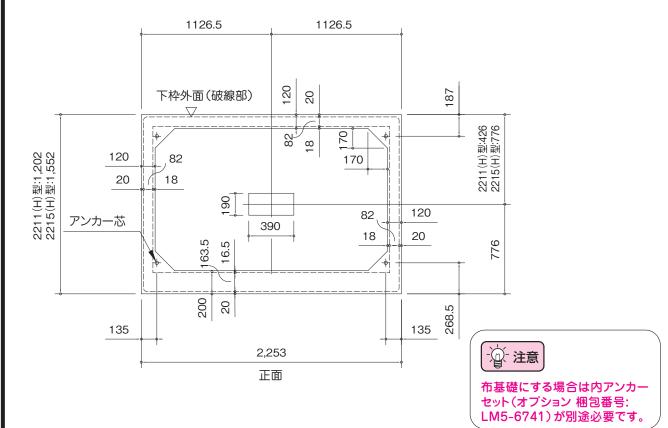
LMD-2215H 300□×300

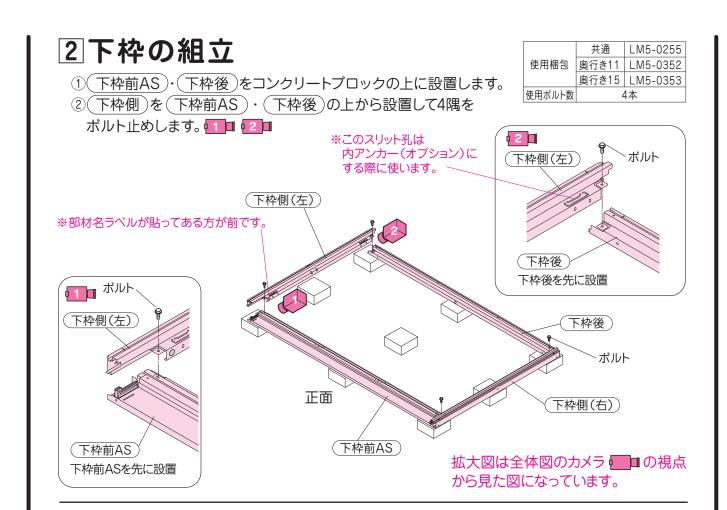
①設置場所の地ならし、地固めを行います。

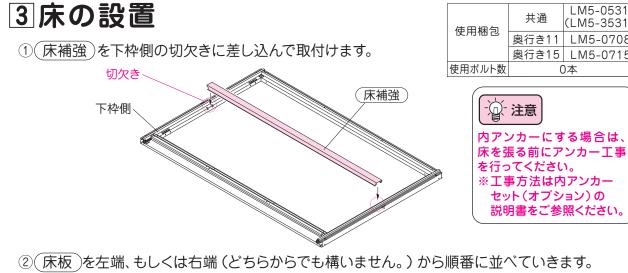
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

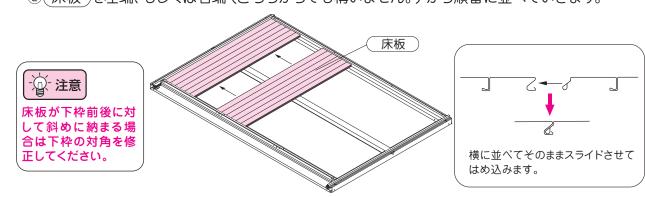


#### 《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)









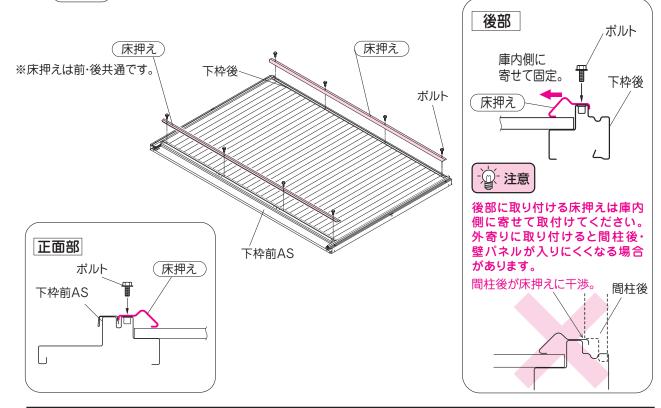
使用ポルト数

8本

共通 LM5-0142

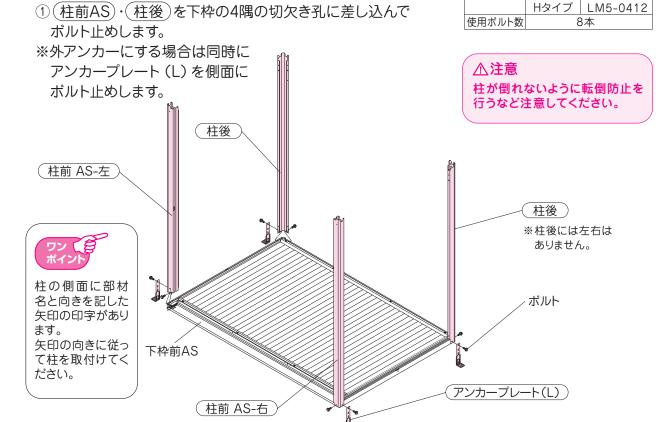


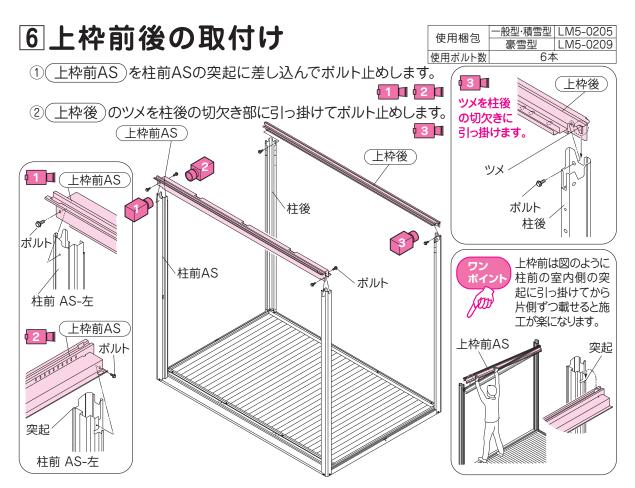
① 床押え を下枠前AS·下枠後に取付けます。

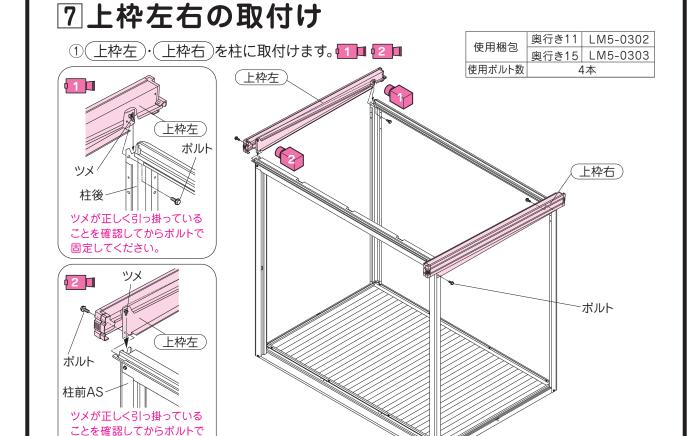


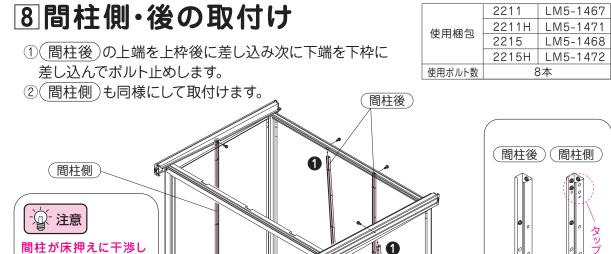
## 5柱の取付け

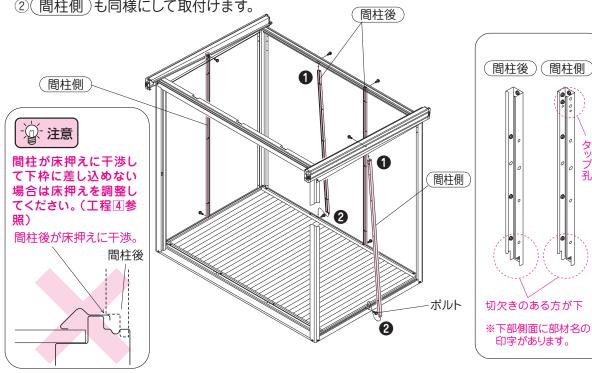
使用梱包 Lタイプ LM5-0411 使用ボルト数













パネル(工程14)が入り易くなります。仮

止めした場合は壁パネル取付け後

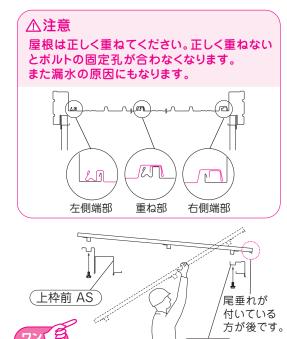
(工程個)に本締めしてください。

固定してください。

①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後と

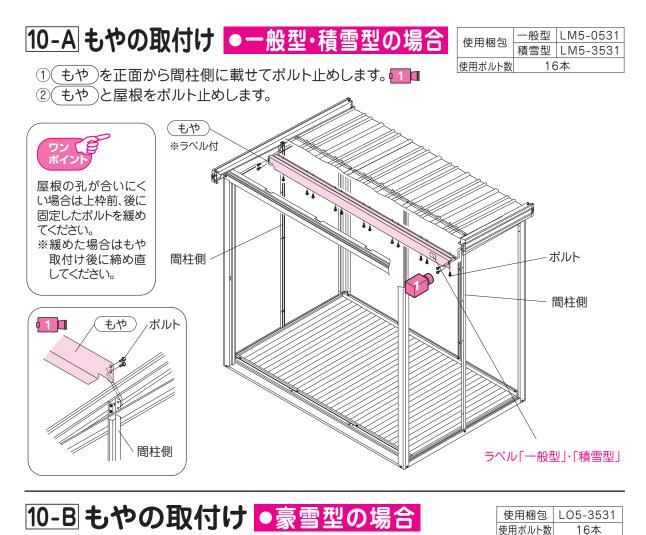


使用梱包 奥行き11 LM5-0913 奥行き15 LM5-0924 使用ボルト数 24本



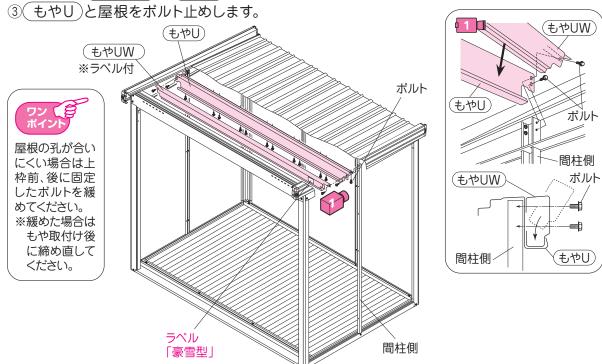
庫内から屋根を載せて

ください。





①(もやり)を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。 ②正面から(もやUW)を(もやU)に落としこみボルト止めします。

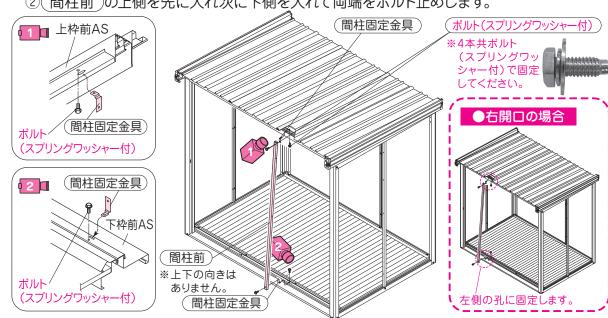




右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の 取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書 11 12 14 16 17 19 を読んでください。

LM5-0142 LM5-1467 使用梱包 2211H LM5-1471 LM5-1468 2215 2215H LM5-1472 使用ポルト数 ボルト(スプリングワッシャー付)4本

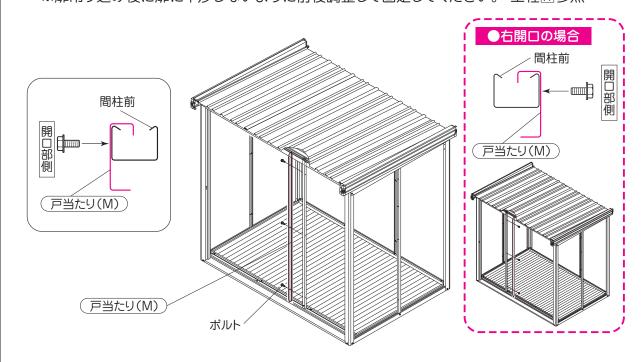
①(間柱固定金具 )を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。 💶 🔼 🛮 ②( 間柱前 )の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



## 12戸当たりの取付け

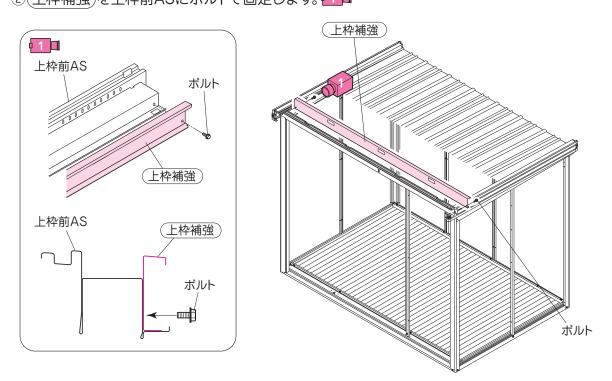
使用梱包 Lタイプ LM5-0411 Hタイプ LM5-0412 使用ボルト数

①(戸当たり(M))を間柱前に仮止めします。 ※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程四参照



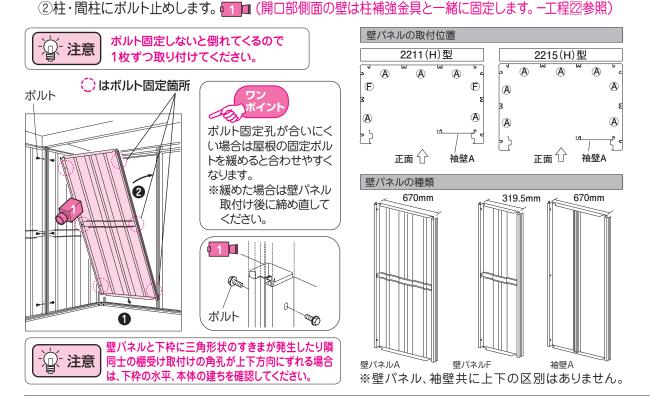
## 13上枠補強の取付け(豪雪型のみ)

①上枠前と柱を固定しているボルトを外します。 ②(上枠補強)を上枠前ASにボルトで固定します。 11 1



## 14壁パネル・袖壁の取付け

①室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)



## 15鼻隠しの取付け

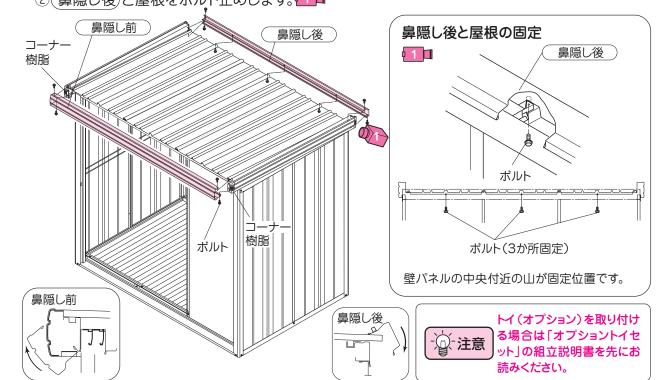
使用梱包 共通 LM5-1105

LM5-0209

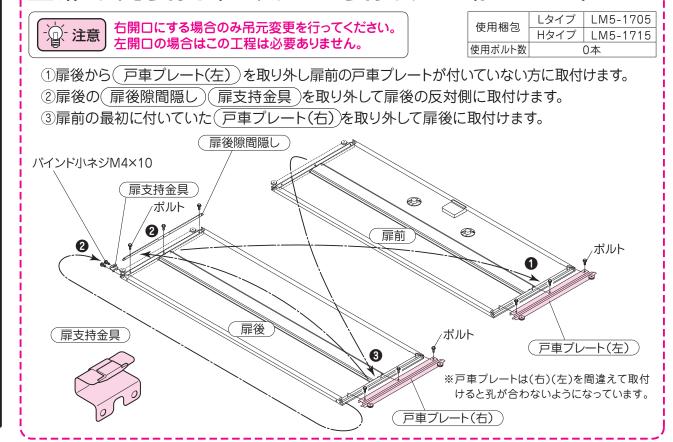
2本

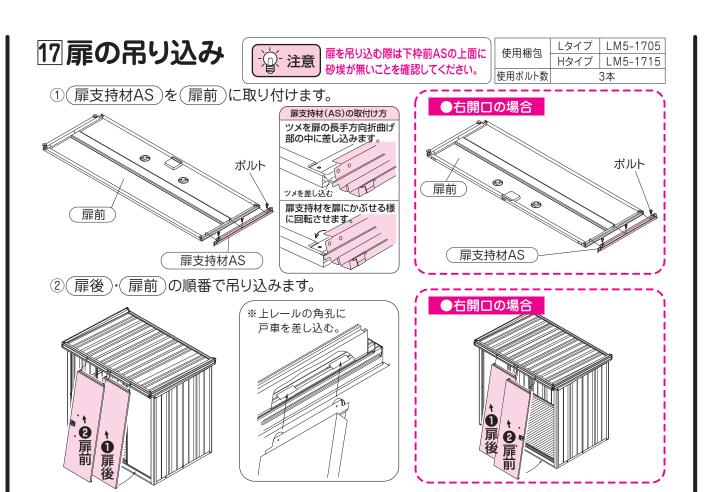
使用ボルト数

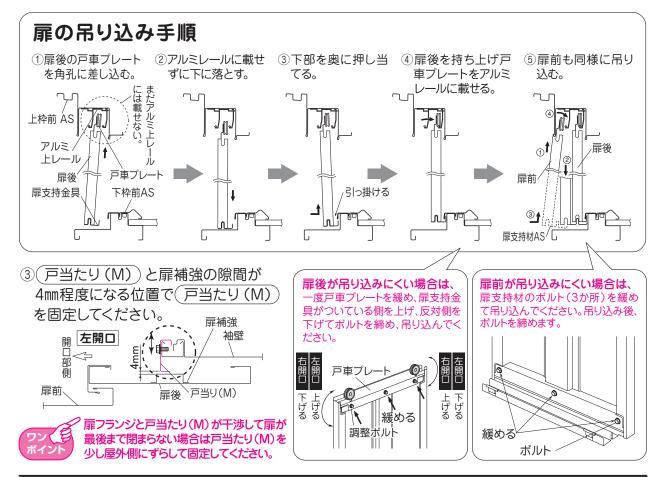
)( 鼻隠し前 )·( 鼻隠し後 )を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。 ②(鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。



## 16扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)







## 18 戸車上昇防止プレート・取っ手の取付け 使用梱包

矢印

取手取付け材

上下とも<mark>矢印</mark>が

図の位置に来る

まで回転させて

(時計まわりに約

ください。

20°回転)

4本

使用梱包 Lタイプ LM5-1705 Hタイプ LM5-1715

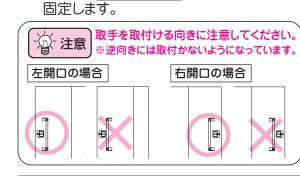
使用ボルト数

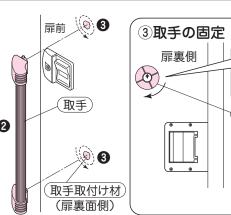
①(戸車上昇防止プレートAS)を上枠前ASに取付けます。(3か所)



# - 注意 また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを取外してください。

②(取手)を扉前の取付け孔に差し込みます。 ③扉裏の(取手取付け材)を回して取手を 固定します。





## 19連動車の取付け

①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。 (ネジ部を5mm程度残してください)

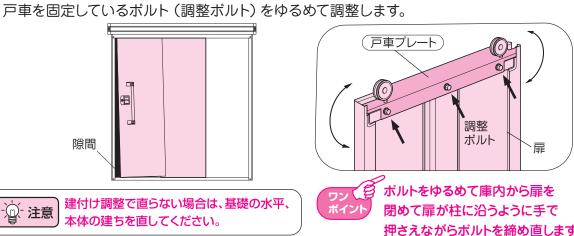
②(連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。📶 ③(連動車)をボルトで固定します。(仮止めしたボルトも締め込んでください。)



## 20扉の建付け調整

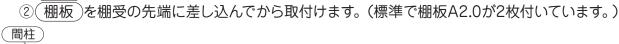
①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

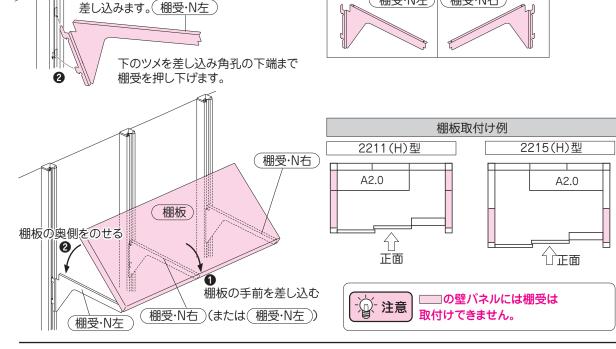
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、



## 21棚板の取付け

(棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。





## 22 その他部品の取付け



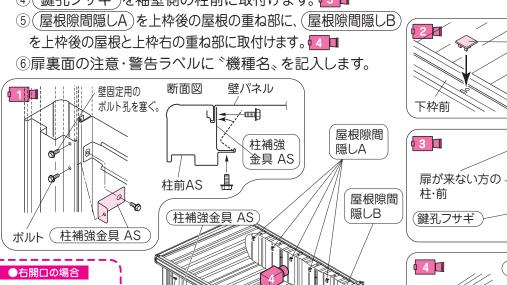
キャップ

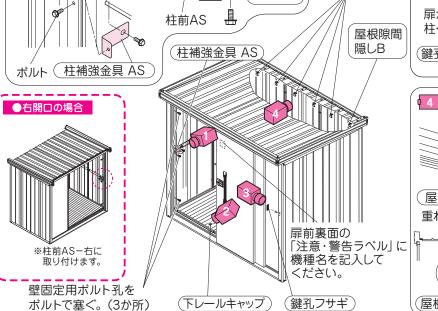
チェック欄

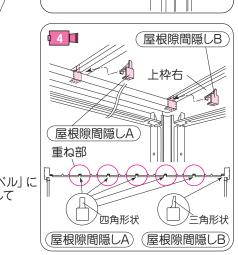
使用梱包 共通 LM5-1903

① (柱補強金具AS) を柱前AS-左 (右側開口の場合は柱前AS-右) にボルト止めします。 11 ②壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。

③ (下レールキャップ)を下枠前に取付けます。 21 ④(鍵孔フサギ)を袖壁側の柱前に取付けます。







#### ●錠操作方法について 取扱い説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。



組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。 ①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。

②鍵が正常に作動するかご確認ください。

③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。

④棚板の配置確認をしてください。

⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)

⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

## ○こんな時は

戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなお ・扉が外れてしまった。 してください。(工程171819) 1.本体の建ちを確認してください。 ・扉がスムーズに連動しない。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。 ・取手が外れる。 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程18) ・扉が最後まで閉まらない。 │ 戸当たり(M)を調整してください。(工程17)

> お客様へ組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 取扱説明書は大切な書類です。 施工業者の方へ本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。



(2211(H)·2215(H))

LMD-2211\_KS\_2025B